

# こころ

第 17 号

編集と発行  
城北コミュニティ文化部会  
丸亀市御供所町1-5-20  
城北コミュニティセンター「明倫」  
☎25-2141

## 人権標語の応募

ありがとうございます  
(優秀作品発表)

さる一月、校区の皆様から

応募いただきました人権標語は、おかげさまで三十一点の作品の応募がありました。三月一日の明倫まつりで百二十四名の参観者の方が審査投票してくださり、その結果、投票数上位十二の作品を選ばせていただきました。この作品は毎月、一作品を城北コミュニケーションセンター内に掲示させていただきます。

以下がその作品です。

### 最優秀賞 一点

ありがとうございます その一言が  
笑顔うむ

御供所町 楠村 絹子

### 優秀賞 二点

あと一步 ふみ出す勇気が  
世を変える

風袋町 藤田 要

立ち話 みんな おいでよ

話そうよ

風袋町 高木 明美

### 佳作 九点

差別のない 地域を包む

笑い声

葭 町 若松 和男

悪口が 大切な友を

おいつめる

葭 町 若松 沙世

人と人 人権守って

明るい社会

風袋町 関 清子

知らぬ子と 挨拶かわす

いい社会

風袋町 藤田登茂子

あなたとわたし えがお

はじめて 心とけあう

城東町 近藤 照司

いたわりあい 助け合い

やさしい心で 毎日を

御供所町 楠村 漸

ご近所さん 今日も

笑顔で 声かけて

富士見町 小倉喜代子

人に優しい社会は

家庭の温もりから  
富士見町 室津貴美子

## 城北小学校

なかよしのつどい

一人はつちじやないよ  
あたたかく見守る地域の心  
富士見町 室津 優妃

さる二月十二日に、城北小学校の体育館において、保護者も参観して「なかよしのつどい」が開催されました。

体育館には児童の人権に関する習字やポスターの力作が展示されていました。

「つどい」の事前に保護者対象の人権研修もあつたのですが、参加者数が少し寂しかった気がしました。

では、「つどい」の内容を簡単に紹介します。

●一年生 「できるよになつたよ」この一年間学校生活で出来るようになったことを全員が動作化して紹介し、世話になった多くの人への感謝の気持ちを発表しました。

●二年生 「みんなともだちみんななかま」を全員の呼びかけで表現しました。

●三年生 「めいりんの里」すばらしいなかま」城北校区にある公共施設をスライドで紹介し、その役割と、地域

のつながりについて発表しました。

●四年生 「なかよし大作戦」呼びかけや寸劇でなかまづくりの大切さを表現しました。

●五年生 「住みよい町 私たちの城北校区」いろいろな人々に支えられて、人にやさしい町づくりについて調べたことを発表しました。

●六年生 「共生」「みんな幸せな町丸亀」について寸劇で発表しました。

一生懸命発表し、それを真剣に聞いている児童の顔や態度が印象的でした。



なかよしのつどい

### つどいに参加した児童や保護者の感想文

#### 一年生 女児

わたしは、なわとびのこうさとびを、はっぴょうしまし

た。はじめてだったので、きんちようしたけれど、なわとびちむのみんなと、がんばって「ありがとう」をつたえられたよ。はっ見したことは、

さべつという、わるいことです。さべつというのは、なかまはずれにしたり、人をたいせつにしないことです。

そして、ぜんぶ見おわたから、こうちよう先生が、ぜんぶのげきやことばに、「なかま」「ともだち」が入っていると聞いたので、びっくりしました。はなしをきいていると、「なかま」と「ともだち」が入っていました。

さいごにおもったことは、ぜったいに、ともだちを「なかまはずれ」にしないとおもいました。

#### 二年生 男児

今日「なかよしのつどい」のうたで、そのはっぴょうにあつたうたを、歌っていたことがわかりました。そのうたは、そのはっぴょうのねがいをこめてえらんだのだと思いました。

ぼくは、四年生のはっぴょうのように、友だちに「こんなんできんの」といつてしまっていました。それを聞いた友だ



## 人権コラム

「ありがとう」「だいいじょうぶ?」「ごめんなさい」「がんばれー」「だいいすきよ」これは心が温かくなる魔法の言葉よ。」と城北校区内の保育所の「ひまわりのつどい」で幼い子どもたちに保育士さんが優しく話していました。

また、ある新聞に、「ありがとうは、幸せを引き寄せる磁石」「ありがとうと口にする、なぜか心が潤ってくる。緊張がほぐれる。ストレスが消える。笑顔が生まれる。元気が出る。ありのままの自分を素直に受け入れ、まわりの人のことも受け入れて、人生のすべてが、いとおしくなる。だから、ありがとうは魔法の言葉」と書かれていました。

人を大切にしたい温かい魔法の言葉が行き交う私たちの地域でありたいですね。

〔託聞記〕

たちの発表もとても楽しかったです。

### 保護者

「なかよしのつどい」に参加させてもらいました。各学年とも劇をおり混ぜながら、内容がよく分かるように工夫されていると感じました。こんな時どうしたらいいかを一つ一つ丁寧に学習しているのだなあと感じました。又、子どもたちの発表を見ながら、大人も気をつけなければいけない点が多々あり、自分を振り返ることができました。仕事を休んで参加したのですが、私自身の心が洗われたようで、とても、有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

### 保護者

六年生になり、最後の「なかよしのつどい」でしたが、最後にふさわしい難しい内容でしたね。今まで小学校で六年間学び感じてきた事を忘れずに、これからの生活に役立てて下さい。これまで「なかよしのつどい」を六回経験し、たくさんのお話を学んできたと思います。「仲間」を大切にすることを「差別しない心」を忘れずにがんばって下さい。

ちは心がきずついたなと思いましたが。その時、「ごめんね」といえなかったので、友だちはとてもつらかったと思います。こんどからは、なるべく友だちにいわないように、そして「ごめんね」をいえるようににしたいです。

### 三年生 女児

わたしは、全学年をみて、なかまということがわかりました。さべつがだめということがわかりました。一年生はなわとび、漢字、エプロンをたたむこと、たし算ひき算とか、いろいろできるよになったことが発表して、こんなことのできるよになったんだなあと思いました。二年生は、本をかりるときの言いかけがべん強になりました。

「フレンズ」というげきをみて、さべつされた人がかなしい気持ちになることがわかりました。

### 四年生 男児

今日、「なかよしのつどい」がありました。一年生から順に見て、自分の番が来た時に大ぜいの人がみているので、きんちょうしました。でも、上手にできたのでよかったです。少し間をあけるのができ

なかったので、五年になったら、間に気をつけてしたいとおもいます。六年生の発表を見て、生まれた場所、今いる場所なんかで差別されたくないし、したくもないです。仲間はやつぱり大切なんだなあと思いました。ほくも、家族や友だちや地いきの人たちなど全員を大切にしたいです。来年もがんばりたいです。

### 五年生 男児

今日のなかよしのつどいでたんぼば学級の人たちの発表はよかったです。一年生の発表では、できるようになったことがいっぱいあるんだなと思えました。ほくも、一年生になってから今まで、できるようになったことはいっぱいあります。

そして女の子や男の子の友だちがいっぱいできたなと思いがい出しました。ほくの発表の文は短かったけど、心をこめて一生けんめい言いました。

そして、一番に残った六年生の発表を聞いて、差別のこわさを改めて感じました。ハンセン病のことでは、うつる病気だと思うことはしかたがないけど、それだけで差別

されるなんてひどいと思いましたが。あの「風の舞」の写真を見て理由を聞いたら、差別されて、(死んだら)たましいだけでも(生まれ故郷に帰りたい)という理由でたてられた(石積みだ)それで、差別さえなかったら、あんなものはたてられなかったのにと思つて悲しくなりました。

### 六年生 女児

私は今日まで「なかよしのつどい」にむけてがんばって練習してきました。最初は、声も小さくて動作もなくぜんぜん自信がなかったけど、だんだん何回も練習していくうちに声も大きくなりました。言えるようになりました。

今日の本番では、しっかり自信をもって言えて本当によかったです。中学生になつても、一年生から六年生が仲間をテーマにした「なかよしのつどい」をおして学んだことをわすれずに仲間や友だちを大切にして、相手の気持ちを考えずに悪口を言ったりする差別は絶対にゆるされたいです。ほかの学年もがんばっていたし、たんぼば学級の人